

GO



To GERMANY

留学先

ドイツ/トリア大学 (2022.10~2023.7)

法文学部 社会文化学科 新田 欧介さん

ヨーロッパで勢力を持ったハプスブルク帝国の歴史に興味を持ち、ドイツ語圏の歴史が学べる島根大学に入学。多民族共生をテーマにドイツ・オーストリア史の研究を進める中で、さらに現代ドイツ人の歴史認識についての理解を深めるため10カ月間ドイツへ留学。ドイツ語技能検定1級取得に向け勉強中。

語学・文化を体感で学び、視野が広がりました。



島根大学入学のきっかけがドイツ史への関心だった新田さんにとって、体感で学ぶ留学は必然だったのかもしれません。ドイツ語圏の近現代史および現代ドイツ人の歴史認識について理解を深める目的と、研究に不可欠なドイツ語能力を向上させたいという思いで留学しました。ドイツの近隣国も訪れました。教科書や文献、映像だけでは感じられない生の情報に数多く触れることができ、人生において貴重な財産となったそうです。留学中はソフトボールクラブに入り、チームメイトとコミュニケーションをとることで自然とドイツ語が身につきました。「日本にいたときよりも自分の視野が格段に広がりました。さまざまな国籍、バックグラウンドを持つ人々との交流の中で、自分自身が持っていた海外やそこに住まう人々に対する先入観を払しょくできました。」と心境の変化も大きかったようです。帰国後も語学学習を継続し、ドイツで培った経験を活かせる記者を目指して努力を続けています。



留学先の大学のソフトボールクラブの仲間と(右端が新田さん)。クラブの代表の家族はクラブ外でも交流があり楽しい思い出がたくさん。



努力の結晶！大活躍のメモノート。授業や友達との交流で気になったことなどを片っ端からメモ。ぎっしり埋まったノートを今もときどき見返して、必死になって学んでいた留学生生活を懐かしんでいる。



BEYOND

From REPUBLIC OF AZERBAIJAN

出身国

アゼルバイジャン共和国
(2022.9より島根大学に留学)

自然科学研究科環境システム科学専攻博士後期課程大学院生

タルベルディエバ ラマンさん

アゼルバイジャン国立美術アカデミーでインテリアデザインを学び、さらに学びの拠点を海外に変えトルコのハジェッテペ大学へ入学。日本政府の奨学金に採択され、島根大学大学院に研究留学生として在学。

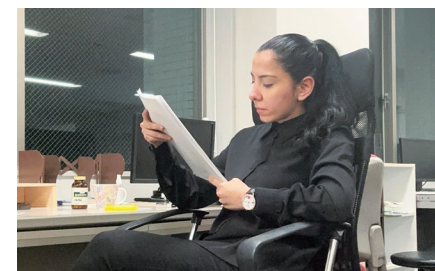
文化・伝統への理解が深まり、探求も充実しています。



留学の魅力は、研究を深めるだけでなくその土地の文化に触れ、多様な考えを持つ人に出会い、実際に触れて感じることが出来る刺激的な学習環境にあります。ラマンさんはインテリアデザイン・建築や環境デザインを学ぼうと、「文化と建築の相互作用を探究したい」と島根大学へ留学しました。「様々な国の建築を理解することで新たな洞察を得ることができました。文化遺産や伝統建築を重点とした建築の実践へのアプローチができる島根大学は、静かでありながら刺激的な環境で、文化の象徴が建築にどのように影響を与えるかを研究する私にぴったりでした」と充実した留学生生活を過ごしています。さらに「遺産を尊重しながら未来のニーズに革新をもたらすことは、持続可能な建物を創出するために大切なこと。建築プロジェクトにおける異文化間の理解と革新を促進していきたいです」と、この経験をもとに「伝統的な象徴と現代デザインの実践の統合」で建築分野に貢献したいと意欲を高めています。

日本の伝統建築で体感する学び

美しく複雑な障子のスクリーンを研究。この場合は、現代と伝統の影響が融合した環境を体現していて、文化遺産を理解し保護するための実践的なアプローチを浮き彫りにしているのだそう。



快適で、必要なものが揃う研究室。時間が経つのも忘れて研究に没頭することも。長い時間集中できるこの環境がお気に入り。